

中国の国民経済と社会発展 の 第十一次五ヵ年ガイドライン

中国は、農村を豊かにし、生活環境を改善し
人材育成により国を興し、インフラを整備し、
調和の取れた社会を建設し、
世界と共同発展しようとしています。

中華人民共和国 唐山市人民政府 日本事務所 翻訳整理
2006年6月

第十一次五ヵ年ガイドラインの構成

第一編 **指導原則と発展目標**

第二編 社会主義新農村の建設：(農民教育・都市化・生産力向上・高付加価値)

第三編 **工業構造のグレードアップ推進**

第四編 **第三次産業の発展を加速**

第五編 区域の協調発展を促進：(東西・農村と都市の差の縮小、長短相補う)

第六編 **資源節約型で環境に優しい社会の建設**

第七編 科学教育による興國戦略と人材強國戦略を実施

第八編 体制改革の深化：(行政改革、内外各種企業税制の統一など)

第九編 **互に利し、共に儲かる関係の対外開放戦略を実施**

第十編 調和のとれた社会の建設を推進：(収入分配の調節など)

第十一編 社会主義民主政治建設の加速：(村長以下の直接選挙など)

第十二編 社会主義文化建設の加速：(文芸の市場化など)

第十三編 国防と軍隊建設の加速

第十四編 健全な計画実施体制の構築：(指導体制強化、法体系の整備など)

第一編 指導原則と発展目標

第一章 まずまずの 生活水準社会 建設の 重要な時期

- GDP成長率(%):十次五カ年計画7%、**十次五カ年平均実績9.5%**
- 輸出入総額(億ドル):十次五カ年計画6800、実績14221、伸び率24.6%
- 高等教育入学率:十次五カ年計画15%、実績21%
- 人口:2000年12億6743万人、2005年13億0756万人
- 課題:耕地・資源不足、生態環境悪化、経済構造不合理、科学自主創造能力弱い、投資と消費の不均衡、区域間の発展の不均衡など

第二章 科学発展観 の 全面的実施

- 経済発展の保持:国内需要拡大、投資と消費の調整、合理的投資規模
- 経済成長方式の転変:**資源節約が基本国策、循環経済・環境保護**
- 自主创新能力の向上:**科学興国・人材興国**、自主知的財産権
- 都市と農村の協調発展:工業が農業を養う、都市が農村を支持
- 調和のとれた社会の建設:就業を拡大、社会公平、民主法制建設
- 改革開放:対外開放水準の継続向上、対外開放と国内発展の調和発展

第三章 経済社会発展 の 主要目標

- GDP:2005年18.2兆元、2010年26.1兆元、**年平均7.5%の経済成長**
- 単位生産当りのエネルギー消費:**5年間で20%削減、水は30%削減**
- 耕地保有量:2005年12010年1200億アール、**年-0.3%**
- 森林カバー率:2005年18.2%、2010年20%に増やす
- 主要汚染物質排出総量削減:**5年間で10%削減**
- 都市住民平均可処分所得:2005年10493元、2010年13390元
- 農村住民平均純所得:2005年3255元、2010年4150元、**年平均5%上昇**

第三編の工業のグレードアップ(1)

第十章 高技術産業 の 発展を加速

- 電子情報製造業の向上: 90nm以下のIC生産技術実現、大型ソフト1兆次の高性能計算機実現、デジタルTV網構築
- 生物産業の育成: 優勢な生物資源と技術を発揮し鍵技術と製品を開発
- 航空航天産業の推進: 飛行機・ヘリコプターの発展。無汚染ロケット 気象・海洋・資源探査・通信用の新型衛星研究開発、地上測位など
- 新材料産業の発展: 情報・生物・航空航天に必要な新材料の開発

第十一章 設備産業 の 振興

- 重大技術装備の振興: 高効率発電・エチレン・石炭化工・冶金設備・石炭採掘・船舶・鉄道交通・環保資源利用・NC工作機械などの装備
- 自動車工業の水準向上: 自動車工業の自主創新能力を高め、自主知識財産権の自動車用エンジン・電子・重要部品の使用を早め、自主品牌乗用車の市場占有率を高め、省エネ新型車開発を奨励する
- 船舶工業実力を強大に: 環渤海・長江・珠江に造船基地を建設

第十二章 エネルギー工業 の 発展と優化

- 石炭の秩序ある発展: 億トン級企業の形成と煤電一体化経営推進 中小炭鉱の整理統合、石炭の清潔燃焼・脱硫技術の開発
- 電力の積極発展: 大型超超臨界発電所建設、大型煤電基地建設、環境保護水力発電、100万kW級原子力発電所建設、
- 石油・天然ガス資源開発: 資源探索の強化と範囲拡大、備蓄基地建設 JNG輸入基地建設、第二の「西気東輸」管道建設
- 再生可能エネルギー利用: 河北省などに100万kW級風力発電基地形成

第三編 工業のグレードアップ(2)

第十三章 原材料工業 の 構造調整

- **冶金工業の優化**: 新增製鉄能力を抑制、遅れた技術を淘汰、製品ランク引き上げ。首鋼などの都市内製鉄所の移転し旧式技術の淘汰し**曹妃甸などの鉄鋼基地を建設**する。電解アルミの総量抑制
- **化学工業分布の調整**: 石油化学工業の一体化・大型化・基地化の推進**高汚染化学工業企業を淘汰**、薬品の自主開発能力を向上
- **建材建築業の健康発展の促進**: エネルギー節約・環境保護品質向上を重点として、建材工業構造調整を推進する。

第十四章 軽紡工業水準 の 向上

- **軽工業の製造水準向上の奨励**: 家電・樹脂製品・皮革およびその他軽工業の新製品開発を奨励し、品質とレベルを向上。
情報・生物・環境保護などの新技術を運用して軽工業を改造する
- **紡績業の付加価値の増加を奨励**: 紡績工業の技術含有量を高め自主ブランド比率を高める。高技術・高性能・差別化を発展させる

第十五章 情報化 の 積極推進

- **製造業の情報化の加速**: **情報化で製造業を改造**。生産設備のデジタル化と知能化管理の情報化を推進、高効率生産を実現。
- **情報資源開発の高度化**: **国家基礎データバンクの建設**、生産・流通・科学技術・人口・資源・生態環境などの情報を採集し有効利用。
- **情報基地施設の完全化**: ブロードバンド通信網・顧客接入網・移動通信網の三網融合を積極推進
- **情報安全保障の強化**: 総合的防備と積極防御で、情報安全保障を向上

第四編 第三次産業の発展(1)

第十六章 生産関連 第三次産業 の 開拓発展

第一節 交通運輸業 の 優先的発展

- 鉄道**: 客車専用線・都市間鉄道交通・石炭運輸鉄道を重点的に建設。コンテナ運輸中枢と客貨中枢を建設。鉄道新線**1.7万km**、その中**客車専用線7000km**を建設。縦四本、横四本の高速客車専用鉄道建設、**環渤海・長江デルタ・珠江デルタに都市間高速鉄道を建設**、
- 道路**: 高速道路を重点的に建設し、国家の高速道路網の骨格形成する。道路の総延長距離**230万km**、その内**高速道路6.5万km**。北京 上海、北京 福州、北京 香港、北京 昆明、北京 ハルピンなどの主要都市を結ぶ高速道路網を建設。**環渤海都市間鉄道(時速200km)**を建設
- 港湾**: コンテナ・石炭・石油・LNGと鉄鉱石輸入中継輸送体系を重点建設。港湾の荷扱能力拡大。**唐山曹妃甸などの新港建設**と既存港拡充。
- 水運**: 長江・珠江など内陸部への深水航道建設と河港口建設
- 空港**: 大型空港拡充、中型空港の整備、小型空港を増加し、中西部と東北地区の空港密度を高める

第二節 現代物流業 の 強力な発展

- 現代物流管理技術の普及と企業内物流社会化の促進
- 専門化物流企業を育成、第三者物流を積極発展。**
- 物流標準化体系の建立、物流の情報化推進
- 大型物流中枢の建設**と区域性物流中心の発展

第四編 第三次産業の発展(2)

第十六章 生産関連 第三次産業 の 開拓発展	第三節 金融業 の 秩序ある発展	<ul style="list-style-type: none">•金融: 金融体系を健全に、サービス機能を完全に、サービス品種を新規に作り、サービス品質を高める。各種所有形式の中小銀行・証券会社・財務会社・融資リース会社・基金管理会社など非銀行金融機関の規範発展。ネット金融サービスの発展を支持。•保険: 養老・医療保険の発展、商業保険に健全な社会保障体系中で重要な作用を発揮させる 農業・責任保険を発展させ、国家が支持する農業と巨大災害保険体系を建立する 保険資金運用ルートを広げ、ネット保険等新方式を発展
	第四節 情報サービス の 積極的発展	<ul style="list-style-type: none">•郵政: 郵政電信基礎業務の改善。•商務: 電子商務の積極的発展。 電子商務の基礎・法律・信用と安全体系建立。•行政: 電子政務の推進。統一的電子政務ネットワークの建設 公益性情報サービス機構の育成と情報資源の開発利用•内容: 地理情報・教育・文化・出版・放送・アニメ等の産業発展
	第五節 商務サービス の 発展	<ul style="list-style-type: none">•法規: 弁護士・公証・法律支援・司法鑑定・仲裁等の開拓•財務: 会計・審査・税務・資産評価・等を基準化する•諮詢: 市場調査・管理諮詢等のサービスの発展を支持•宣伝: 広告業の発展を推進、展覧会業を発展

第四編 第三次産業の発展(3)

第十七章 消費関連 第三次産業 を 豊かに

- **商貿サービス業の向上**: コンビニ・飲食等の商貿サービスの発展を奨励
チェーン店経営・**物流配送の現代流通方式を積極的に発展**
- **不動産業の発展**: 一般住宅の発展を重点とし、豪華住宅を厳格に制限
住宅の供給保障と価格安定。賃貸し住宅、住宅ローン制度完全化
- **旅遊業の強力発展**: 国内海外旅行を全面的に発展。
観光資源保護・観光基礎施設建設。
- **公共事業の強化**: 公共交通を優先的に発展。タクシー業積極発展。
都市排水管網の改善建設。給水能力増強。ガス供給と集中供熱。
- **厚生事業の発展加速**: 衛生・家政サービス、保安・養老・託児
食品配送・修理サービス・廃品回収などの重点発展。
- **体育事業の発展**: 各種学校体育施設の建設。全民健身活動の
展開。体育事業と体育産業への投資を奨励。競技運動水準の
向上。**北京オリンピックと広州アジア体育大会の実施。**

第十八章 第三次産業 発展政策 の促進

- **政策**: 社会資金のサービス業への投入を奨励、非公有制経済の比率
を向上。非営利性と営利性とに区分し、産業化の改組する。
営利性事業は企業とし、現代企業制度を迅速に建立する。
非営利性の政府機関と組織のサービスは社会化の改革を推進。
財政・税制・土地・価格等の政策を積極的にとり、サービス業の
キー領域と新興産業・新型業態の発展を支持する。

第六編 環境に優しい社会建設(1)

第二十二章

Recycle Reuse Reduce の 3R経済 の 発展

第一節 省エネ

- 低燃焼効率ボイラの改造:新技術を採用し、現有ボイラを改造
- 区域熱電産業:分散式小型ボイラーを**集中供熱**に改造
- 余熱余圧の利用:鉄鋼・建材業での**余熱余圧利用**の展開
- 節約と代替石油:電力・交通運輸業での節約と石炭液化等実施
- 機電系統の節約:炭鉱・セメント業等での**節電改造**
- エネルギーシステムの改善:石油化学業・鉄鋼業の**節電**
- 建築のエネルギー節約:建築業の**節電設計**・節電改造
- 高効率照明:公共施設・ホテル等での**高効率節電照明**の推進
- 政府機関の節約:政府機構での節電建築・照明・採用推進
- 節約監視システムの構築:監視設備更新・人員増強

第二節 節水

- 農業:雨水集積、飼草基地の灌漑、**水の利用効率向上**
- 工業:火力発電・冶金業等高消耗水業界の**節水技術重点推進**。
- 都市:水の再利用拡大、**節水設備と器具の強制推進**、
- 海水:海水淡水化と**海水直接利用の積極展開**

第三節 土地 の有効利用

- 基本国策:国策として**耕地保護を基本**とする
- 転用制限:農地を工業・商業要地への**転換する規模を制限**する
- 基準制定:健全な用地使用の**基準量と多層標準住宅**の建立
- 有効利用:農地の整理展開、農民住宅占地制限、都市の省土地

第六編 環境に優しい社会建設(2)

第二十二章 Recycle Reuse Reduce の 3R経済 の 発展

第四節 材料 の 節約

- 材料節約技術推進:小型化、軽量化、材料再生設計の推進
- 建設物:建築物の品質向上、使用寿命延長、過度の装飾排除
- 材料節用:木材・鋼鉄・セメントなどの節約と代用
- 包装:過度・過剰包装の禁止
- 使い捨て品:使い捨て製品の生産と使用を制限

第五節 資源 の 総合利用

- 廃物利用:くず紙・くず鉄・古タイヤ・廃棄電子部品の回収利用
- 循環経済:鉄鋼・非鉄金属・石炭・電力・化工・建材・製糖等の業界に循環経済への改造を実施し、一部のモデル企業を形成する。
- 産業園区:資源を循環利用する産業チェーンと集中供熱と廃棄物処理センターを建設し、曹妃甸などの幾つかの循環経済産業園モデル区を建設
- 資源回收利用:資源回收利用市場と加工モデル基地を建設

第六節 節約政策 の 促進強化

- 立法:循環経済立法を加速。エネルギー・水消費目標責任と考課制度を実行
- 執行:設計・施工・生産等の技術標準と材料消耗評価制度執行
- 淘汰:高消費エネルギー技術と設備を淘汰
- 強制:性能効率標識と省エネ製品認証制度を強制

第六編 環境に優しい社会建設(3)

第二十三章 自然生態の修復保護

第二十四章 環境保護の強化

- 第一節 水資源管理の強化
- 第二節 土地資源管理の強化
- 第三節 鉱産資源管理の強化
- 第四節 環境保護措置の強力な実行

第二十五章 資源管理の強化

- 第一節 水汚染防止の強化
- 第二節 大気汚染防止
- 第三節 固体廃棄物汚染防止

第二十六章 海洋と気候資源 の合理利用

- 第一節 海洋資源の開発と保護：
海洋意識の強化、**海洋権益の維持**、海洋生態の保護、**海洋資源の開発**、海洋経済の発展促進。
- 第二節 気候資源の開発利用：
太陽エネルギー・風力などの合理的な開発と利用
気象衛星利用と天気予報の确实性向上

第九編 共同発展の開放政策

2010年の総貨物輸出入貿易額:2.3兆ドル、サービス貿易額:4000億ドル

第三十五章 対外貿易 の 質的良化

第一節 輸出構造の優化:高付加価値労働集約型製品の輸出を支持。労働・安全・環境保護標準の厳格な実施。高消耗・高汚染・資源性製品の輸出を制限。

第二節 輸入の積極拡大

第三節 サービス貿易の発展

第四節 公平な貿易政策

第三十六章 外資導入の 質的向上

第一節 外商投資の方向付け:高技術産業・現代サービス業・グローバル企業の本部・研究開発中心・購入中心等を奨励

第二節 外資方式の多様化利用促進:企業協力方式の多様化。金融・借款・国内証券基金管理会社への参入等を奨励

第三十七章 国際区域経済 協力の推進

第一節 “走出去”(対外直接投資)戦略の実施:条件を備えた中国内企業の対外直接投資を支持。

第二節 国際区域経済協力の推進:国際区域経済協力機構へ積極的に参与する。対話と協調を強化。発展途上国への援助と技術協力を強化

中央政府が投資を支援する重点

新農村建設

農村義務教育の普及と強化・農村労働力4500万人を都市就業へ
公衆衛生と基礎医療・飲水の安全・農村道路・電力供給・
食品産業の育成・土地改良・植林・灌漑・動物防疫・品種改良

公共サービス

義務教育と**職業教育・技能訓練(唐山技能校)**、公共衛生
社会福祉・公共文化・就業支援・厚生サービス・食品安全監査
生産安全監査・防災減災・貧困対策・少数民族地区の発展

資源環境

エネルギーと重要鉱産物の地質調査、生態環境保護と修復、
環境汚染防止、省エネ・節水・土地の有効利用
Recycle/Reuse/Reduceの3R経済を広める(曹妃甸にモデル区)

自主創新

自主知識財産権の創造、科学技術の基礎建設、
ハイテクの産業化、重要技術と設備の自主研究開発と国産化、
省エネ・省資源技術の開発研究と広範囲の普及

インフラ建設

鉄道・高速道路・重要港湾(曹妃甸)と航路・ハブ空港と周辺空港
南水北調・大河治水・通信情報基礎施設・**戦略物資備蓄(曹妃甸)**
再生可能エネルギー・都市水道・集中供熱・都市污水ゴミ処理

11・5ガイドライン中の環渤海関連

	11・5ガイドライン関連条項		渤海関連記述
第三編 産業構造の グレードアップ 推進	第十三章 原材料工業 構造の調整 と布局	<ul style="list-style-type: none"> •内需を基礎とし、生産能力過剰を解決 •製鉄の生産能力拡大を厳しく制限 •製品・設備・技術の劣った所を淘汰 •鋼鉄製品の等級と品質の引き上げ •鋼鉄工業の循環経済の発展推進 •地域・集団を跨る企業の組み直し •若干の国際競争力の有る企業を形成 	首都鋼鉄等の都市にある鋼鉄企業の移転と劣った生産能力の淘汰を結合し、唐山曹妃甸などの鋼鉄基地を建設する
第四編 第三次産業 の 迅速な発展	第十六章 第一節 交通運輸業 を優先発展	<ul style="list-style-type: none"> •鉄道運輸:新線建設 17,000km 内客車専用線 7,000km •道路網:道路総延長 2,300,000km 内高速道路 65,000km •水路運輸:沿海・沿江港の配置の改善 コンテナ・石炭・輸入原油とLNG 鉄鉱石輸送システムの重点建設 	大連・唐山・天津・青島 上海・寧波・福州・廈門 深圳・広州・湛江及び 防城などの港湾の石炭・ 原油・LNG・鉄鉱石と コンテナの運輸システム を建設する
第六編 環境に 優しい社会 の建設	第二十二章 3R経済を 発展させる	<ul style="list-style-type: none"> •エネルギー・用水・土地・材料の節約 •資源総合利用の強化 鋼鉄業界などの循環経済への改造 を実施し、循環経済のモデル企業を 作る •節約政策措置の促進強化 	資源循環使用産業 チェーンと集中供熱及び 廃棄物処理センターを 建設し、唐山曹妃甸 などに循環経済モデル 区を建設する